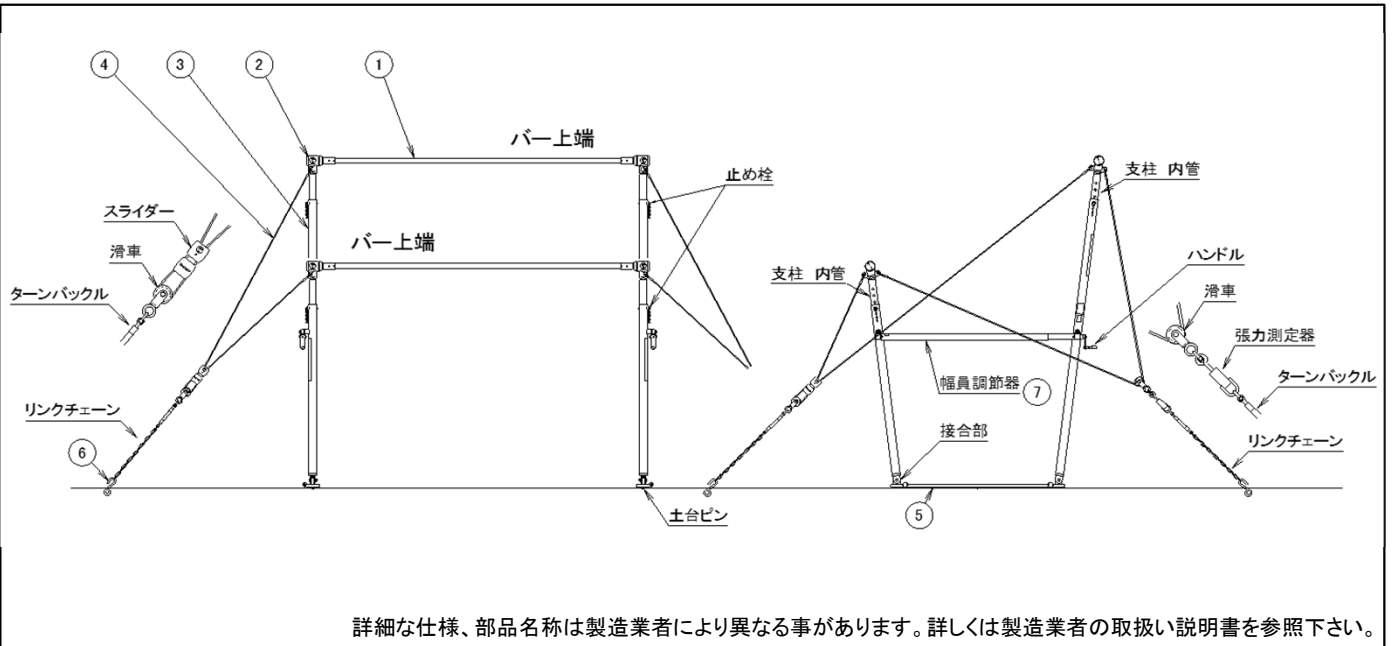


安全点検マニュアル(段違い平行棒)

点検日	施設名称	点検者
平成 年 月 日		
製造業者名	製品番号	シリアルNo
		納入年月日
		年 月 日



点検パーツ	方法	項目と点検内容	定期点検時期	標準耐用年数	点検結果	判定結果
① バー	目視・触診	バー表面に亀裂、はがれ、変形が無い事。バー表面の汚れを落として確認する事。	1カ月毎	2年		
	目視・触診	バーから異音が発生していない事。	1カ月毎	2年		
② キャップ	目視・触診	表面に亀裂、変形が無い事。	3カ月毎	5年		
	目視・触診	回転部が固着していない事。	3カ月毎	5年		
	目視・触診	ネジ類にユルミが発生していない事。	3カ月毎	5年		
	目視・触診	回転部に異常と感じるガタが無い事。	3カ月毎	5年		
	目視・触診	キャップと支柱上部との接合部にガタが無い事。	3カ月毎	5年		
	目視・触診	回転部動作時に異音が無い事。	3カ月毎	5年		
③ 支柱フレーム (内管、外管)	目視	フレームに破損、亀裂、変形、サビが無い事。	6カ月毎	7年		
	目視・触診	止め栓に破損、変形、サビが無い事。しっかりと挿入できる事。	6カ月毎	7年		
④ 緊張索 (ワイヤ、ターンバックル、リンクチェーン)	目視・触診	ワイヤ本体およびワイヤ両端ロック部に素線切れ、ささくれが無い事。	3カ月毎	3年		
	目視・触診	ターンバックルのネジ山がつぶれていない事。動作不良が無い事。	3カ月毎	3年		
	目視・触診	滑車がストレス無く回転する事。ボルトナットにユルミが無い事。	3カ月毎	3年		
	目視・触診	張力測定器が変形、破損、動作不良となっていない事。	3カ月毎	3年		
	目視・触診	スライダに破損、変形、摩耗が無い事。	3カ月毎	3年		
	目視	リンクチェーンに破損、変形、サビが無い事。	3カ月毎	3年		
⑤ 土台、滑り止め具	目視・触診	可動部分が固着していない事。	3カ月毎	5年		
	目視	裏面のピンが破損、変形していない事。	3カ月毎	5年		
	目視	滑り止め具は破損、摩耗、はがれ、変形が無い事。	3カ月毎	2年		
⑥ S環	目視	破損、変形、伸び、サビが無い事。	3カ月毎	5年		
	目視・触診	ハンドルに破損、変形、サビが無い事。	2カ月毎	5年		
⑦ 幅員調節器 操作ハンドル	目視・触診	幅員調節器に破損、亀裂、変形が無く 幅員調節機構が確実に動作する事。	2カ月毎	5年		

点検結果 記入例	確認 (異常無)	摩耗有	ゆるみ有	変形有	欠損有	劣化有	老朽化有	破損有	その他	判定結果 記入例	○	問題無。この点検作業の範囲では異常無し。
	✓	w	y	u	p	q	x	b	e		△	要注意。早めの部品交換などの対応推奨。
											×	問題有。直ちに使用を中止し専門業者に相談する。

点検実施時期、標準耐用年数は一般的な使用方法、頻度を基に想定されております。器具を使用する際は日常的に使用前点検を実施される事をお勧めします。(点検実施時期、標準耐用年数は「スポーツ器具の正しい使い方と安全点検の手引き」公益財団法人日本体育施設用器具部会発行 より引用)

点検時メモ (点検時に気付いた項目をメモしましょう)

注意①: 点検により重大な問題(例: 変形、ヒビ割れ、ワイヤ素線切れ)が確認された場合は、直ちに使用を中止し、製造業者、または販売代理店にすみやかに連絡を取り、修理または交換等の適切な処置をしてください。

注意②: 危険を伴う作業(高所作業など)や、専門的な作業(分解・点検など)を伴う場合は、年1回以上の点検を専門業者へ依頼される事をお勧めします。